

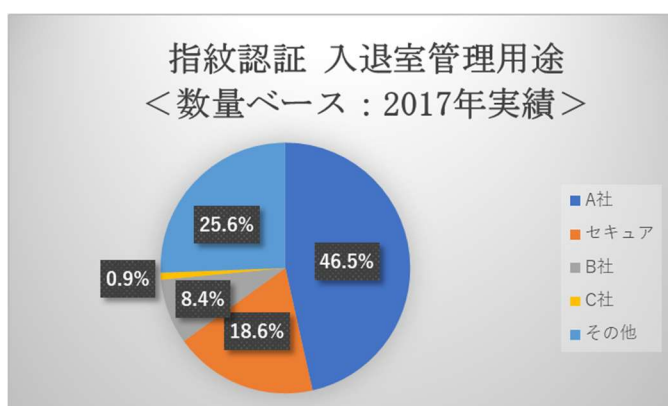
報道関係者各位

個人情報や機密事項などセキュリティ意識の高まりと共に
指紋・顔認証システム シェア率が大手に肉薄
セキュリティだけではない ID 認証データを働き方改革に活かすデータビジネスも視野

セキュリティ機器及びセキュリティシステムの設計、開発を行う株式会社セキュア（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：谷口 辰成）は、指紋認証、顔認証システム分野にて大手メーカーに追従するシェア率2位を占めています。※富士経済「2018セキュリティ関連市場の将来展望（指紋認証、顔認証入退出用途 数量ベース 2017実績）より出典

当社の代表的な取扱商品である、入退管理システム「FaceStation2（フェイスステーションツー）」の2017年度提供数が前年比の200%を超えるなど、今後更なる出荷を見込んでいます。

■**群雄割拠の中シェア率2位を誇る**



富士経済「2018セキュリティ関連市場の将来展望」より出典

より高いセキュリティを求め、企業自らがオフィス単位でセキュリティシステムを導入することが増えており、当社でも入退室管理用途のID認証リーダーの出荷数が年々拡大し、中でも生体認証によるID認証リーダーの累計出荷数が3000台を超えるなど生体認証によるID認証の比率が増えてきています。大手メーカーが新築ビルや建物を中心にシステムを導入する中で、当社ではオフィスを構えるユーザーのニーズに応える形で、ソリューション営業によるヒアリングを強化し、大手と肩を並べるシェア率を誇ります。当社の出荷台数は2010年では年間150台であったのに対して2017年には2100台を突破するなど、個人情報や機密事項など、セキュリティの意識の高まりと同時に出荷台数が増えています。時代の流れのなかで、ゼロベースで新しく事業を立ち上げ、BtoBビジネスへの挑戦を大手に先駆けて挑戦してきた結果になります。